

活動への取り組み評価尺度
Assessment Scale for Engagement in Activities(ASEA)

対象者氏名：

評価者氏名：

評価日： 年 月 日

活動内容： 活動時間(評価対象時間)：

領域	項目内容		
活動	1	I. 活動の参加について 2. 自発的に参加する/準備し始める/楽しみに待っている 1. 促されて参加する/本人の意思なく参加する 0. 促されても参加しない/拒否する	0 1 2
	2	II. 活動の開始について 2. 標的活動に対して自ら開始することができる 1. 標的活動に対して促されて開始することができる 0. 標的活動に対して促されても開始することができない	0 1 2
	3	III. 活動の継続(集中)・再開について 2. 終了まで標的活動を継続することができる/途中で止まってしまっても自ら再開できる 1. 途中でやめてしまうことがあるが促されれば標的活動を再開できる 0. 途中でやめてしまうことがあり、促されても標的活動を再開できない	0 1 2
	4	IV. 活動の正確さについて 2. 標的活動を正確に実施できる/(歌など正確さを重視されない活動であれば)目的に沿った行動ができる 1. 標的活動を正確にもしくは目的に沿った行動ができる時とできない時があるかもしくは介助下であればできる 0. 標的活動を正確にできない(介助もできない)	0 1 2
覚醒	5	V. 覚醒度について 2. 覚醒している 1. 傾眠状態になることもあるが、覚醒させることは出来る 0. 傾眠状態になることもあり、覚醒させることが難しい	0 1 2
交流	6	VI. 他者(スタッフは含まない)との交流について 2. 活動を通して会話などの交流があり、患者同士に不快な様子はない 1. 活動を通して会話などの交流がない 0. 特定の他患の言動を阻害する	0 1 2
	7	VII. 集団(活動)への交流について 2. 集団に対して協力的な言動がある(意見、発言、動作で表現するなど) 1. 集団には参加している(活動には参加しているが、促されても活動を通して意見、発言、アイデアを表現しない) 0. 集団に対して非協力的な言動がある(集団の場にそぐわない阻害するような言動、その場から去ろうとする/去るなど)	0 1 2
	8	VIII. スタッフからの関わりについて 2. スタッフからの関わりに適切に反応できる(言語的あるいは非言語的に) 1. スタッフからの関わりに適切に反応があるときとないときがある 0. スタッフからの関わりに適切に反応できない(意味不明な言葉や文脈に沿わない、眠っているなど)	0 1 2
感情	9	IX. 感情表出について(ポジティブ) 2. 活動を通して自発的に快感情(笑顔やほほえみなど)が表出されている 1. スタッフなど他者からの関わりを持って、快感情(笑顔やほほえみなど)が表出されている 0. 笑顔やほほえみもみられない	0 1 2
	10	X. 感情表出について(ネガティブ) 2. 不快感情(不安怒り悲しみなど)が表出されていない 1. スタッフなど他者からの関わりによって、不快感情(不安怒り悲しみなど)が表出される 0. 明らかな原因もなく不快感情(不安怒り悲しみなど)が表出される	0 1 2
合計			/20点